

2022年9月2日
KB ツヅキ株式会社

高知工場跡地の流出油に低濃度 PCB が含まれていた事案の発生について

弊社高知工場跡地の変圧器より油漏れが発生し、油が用水路に流入する事案が発生いたしました。
当該変圧器は弊社の記録では昭和 57 年に絶縁油を入れ替えたこととなっておりますが、念のため変圧器内に残っていた油を直接検査したところ、低濃度 PCB が含まれておりました。

近隣住民の皆様、行政、その他関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

1 事案の内容

8月26日、市民より南国市に対し、用水路に油が流れており、発生源はKB ツヅキとの通報がございました。

弊社が調査したところ、敷地内の変圧器より絶縁油が漏れ、変圧器周囲の地面と一部は用水路に流入しておりました。

関係各方面のご協力のもと、直ちに流出した油の回収を行うとともに、当該変圧器からの流出防止措置を行いました。

併せて流出した絶縁油の分析を検査機関に依頼していたところ、本日、分析結果を受領いたしました。

その結果、流出した絶縁油には低濃度 PCB が含まれていることが判明いたしました。

流出した絶縁油の数量 1,400L(推定)

PCB 濃度 21mg/kg

(PCB 濃度が 0.5mg/kg~5000mg/kg 以下のものは低濃度 PCB に該当します)

なお、油漏れを起こした変圧器の隣に設置してある同型の変圧器について、本日、絶縁油の量を確認したところ、残量が 0 になっていました。残量が 0 になっていた原因については調査中であります。

2 今後の対応

緊急の汚染防止策として流出が発生した変圧器の下部にオイル受および吸着マットの設置を行っております。

該当変圧器からの流出は完全に止まっておりますが、来週中に撤去することにより再発防止を徹底します。

今回の低濃度 PCB を含む油流出事故を重く受け止め、流出した油の処置、並びに場内に残る機器類の点検および保管方法等について、関係機関よりご指導等を賜り再発防止に努めます。

近隣住民および下流域の住民の皆さまに対し、説明会を開催し、誠意ある対応をしていく所存です。

なお、8月30日に県が下流域3か所で行った水質検査では PCB は検出されておりませんが、当面の間、弊社において継続的に検査を実施します。

以上

(本件に関する問い合わせ先)

本社 総務人事部 TEL: 052-300-0501